

過去分詞・受身形

I. 過去分詞

1. 「過去分詞」とは、まず「過去形Ⅱ」の本動詞（本過）のことである。

主	過去形Ⅱ		
	助過		本過
	sein	haben	過去分詞
Ich	bin	haben	gekommen
	sein	habe	gesagt

例： Ich bin gekommen. 来ました。
 Ich habe gesagt. 言いました。

2. 本過の他に、「過去分詞」は「受身形」の本動詞（本受）でもある。※

II. 受身形

1. 「受身形」とは、「他動詞」の動作を受ける時に使う動詞節のことである。

主	受身形			
	時	助受		本受
		過程	完了	過去分詞
Es	現在	wird	ist	gemacht. gesagt. geschrieben.
	過去	wurde	war	

2. 「受身形」には、「過程」と「完了」、そして「現在」と「過去」がある：

過程の例： Es wird gemacht. 作られる。 (現在過程)
 Es wurde gemacht. 作られた。 (過去過程)

完了の例： Es ist gemacht. 作られてある。 (現在完了)
 Es war gemacht. 作られてあった。 (過去完了)

注：「～と私は人に言われた」等は、ドイツ語で受身形を避けて（いわゆる「Ich wurde gesagt」等よりも）、「Er hat mir gesagt」等を使う。

DOCH

協調 :	Gib doch her.	貸してよ！
	Komm doch mal zu mir.	一度家きてよ！
	Ich hab doch keine Zeit.	時間ないってば！
	Das ist doch verboten!	それダメだから！
	Du hast es doch verstanden, oder?	わかったよね？
逆否定 :	A: Du kommst <u>nicht</u> aus Japan?	日本からじゃないよね？
	B: Doch , ich <u>komme</u> aus Japan.	違うよ。日本からだよ。
	A: Du hast das <u>nicht</u> verstanden!	貴方分かってないよ！
	B: Doch , ich <u>habe</u> das verstanden!	違うよ。わかっているよ！
	A: Du kommst <u>nicht</u> zur Party, oder?	パーティー来ないんだよね？
	B: Doch , ich <u>komme</u> zur Party.	違うよ。パーティー来くよ。
	A: Das stimmt doch <u>nicht</u> !	それ違うから！
	B: Doch , das <u>stimmt</u> wirklich.	そうだよ。合ってるよ。